

2010年(平成22年)5月(1)

おたる 西別院だより

季刊 第92号



「春の訪れ」

平成22年 宗祖親鸞聖人降誕会

○5月22日(土)

10時から12時すぎまで 於 小樽別院本堂

5月22日(土)は月忌参詣をお休みさせていただきますので、
どうぞお寺にお参りください

宗祖降誕会しゅうそごうたんえについて

親鸞聖人の生まれ育った時代

平成二十三年四月より京都のご本山本願寺（西本願寺）では宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が修行されます。

九十年の生涯を歩まれた親鸞聖人のお誕生まで遡ればもう八百四十年近くも昔の話になります。今回は親鸞聖人のお誕生を祝う法要＝宗祖親鸞聖人降誕会にちなんで、その当時の時代背景を考えてみようと思います。

親鸞聖人がお生まれになったのは平安末期の承安三年四月一日（新暦では五月二十一日）京都の日野の里といわれています。

平安時代といえは京都におかれた平安京が政治の中心地でした。戸籍を管理し課税の対象者から税金を納めてもらうことで成り立っていた奈良時代から、土地課税を基調とした支配へと変わっていったようです。その結果一般層と富豪層との格差が激しくなってきたのです。いわゆる格差社会になったのです。

鎌倉時代になると今度は守護地頭という制度のもと、地方支配に武士が入りこむ構造へ変わっていききました。また豊作凶作に関わらず一定の年貢を納める制度で、一般層は大変苦勞したようです。

それに加え、内乱や飢饉が絶えない時代であったがために広く末法思想（この世は終わりだと思

厭世感）が浸透してきました。

その時、鎮護国家を担う比叡山では学問に励む一方で加持祈祷や僧兵など武力を通じて政治権力を持つようになりました。その一方で円仁が比叡山に念仏三昧という方法を伝えたり、大衆への布教が始まり、多くの人々が宗教に目を向けるきっかけになったようです。救うべきものが国家から個人に変わった時代といえるかもしれません。事実この時代には浄土宗、浄土真宗、日蓮宗、臨済宗、曹洞宗など数多くの新宗教が生まれ育っていったのです。

こうした時代背景の中で親鸞聖人は「すべて救う」念仏の教えを選びとって広めてくださったのです。そのご生涯はどれほどのご苦勞のうえに成り立っていたのか、親鸞聖人のお誕生を祝う法要を勤めさせていただく中でそのことを感じ取っていききたいものです。

※円仁（七九四～八六四）第三代天台座主。最澄の弟子として、また最後の遣唐使として中国に留学。

※念仏三昧……心を静かにして、一心に仏を思い浮かべる

こと。また、それによって得られる心のやすらぎさらにひたすら念仏を唱え、雑念妄想を取り払うこと

「春の訪れ」に寄せて

何年前になるでしょうか。水芭蕉を描いていると、遠くの方に黄の花が目に入り、近づいてみると、エゾリュウキンカ「ヤチブキ」でした。初めてみる「ヤチブキ」の黄色が、周りの景色も、私の気持ちも明るくし、ずっと描いてみたいと思いつづけていました。

それから、何年か過ぎ、当別で出会った時のうれしかったこと。春が訪れると描きたいと思う花の一つです。（古屋ギヤラリ、新春展出品 作品6号）



小樽市市展委員・小樽美術協会会員・小樽別院門徒

高橋 雅子（別院門徒）

新「食事のいじば」制定

（食前のいじば）

〔合掌〕

●多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

♪斉唱：深くご恩を喜び、ありがとうございます。

（食後のいじば）

〔合掌〕

●尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。
♪斉唱：おかげで、ごちそうごちままでした。

食前、食後のことばとして長年親しまれてきました「食事のことば」が一部見直され、新しい「食事のことば」が約五十年ぶりに制定されました。

見直されたのは二か所。「食前のことば」では「み仏と、みなさまのおかげにより」を「多くのいのちと、みなさまのおかげにより」となりました。

日々の食事が多くの動植物のいのちの犠牲の上に成り立っていることや、直接、間接的

に多くの人たちのご苦勞のおかげによることが示されました。

また「食後のことば」では「尊いおめぐみにより、おいしくいただきました」を「尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます」となりました。

「御恩報謝につとめます」と加えられたのは、深い感謝の念を表し、仏さまから救いの目当てとして願われていることへの、返しても返しきれないほどの大きな仏恩に対して、報謝



の生活を送る決意を表明するものであります。食事はただ漫然と食物を取り栄養を補給するというのではなく、「ことば」はそこに至るまでの大きなおかげとめぐみがあることに気付いてもらうもので、ものの本当の価値を見出す人間性が養われていくことにつながっていくと考えられています。

是非各ご家庭にて新しい「食事のことば」を唱和してから食事をいただきたい欲しいものです。

親鸞聖人750回大遠忌記念

本願寺展

北海道近代美術館

20万人近くを動員した2007年9月の九州国立博物館を皮切りに全国5ヶ所で開催された「本願寺展」がついに札幌にやってきます。国宝、重要文化財を含む約150件を展示。期間中に展示品の入れ替えも行いますので、何度行っても楽しめること間違いなし!!本願寺に参拝しても見ることのできない品々をこの機会に是非!!

住所 札幌市中央区北1条西17丁目
電話 011-644-6882
開館時間 9:30~17:00(入場は16:30まで)
展示期間 平成22年4月17日(土)~5月23日(日)
休館日 月曜日(ただし5/3は祝日開館)、5/6(木)
観覧料 ￥1,200.-

※前売り券、割引券等を小樽別院でもご用意させていただきます。

交通案内

■ 地下鉄

東西線・西18丁目駅下車4番出口から徒歩5分

■ JRバス、中央バス

道立近代美術館前バス停下車徒歩1分



記念講演会

4月25日(日) 14時~当日先着200名

「本願寺の歴史と北海道」

金龍 静氏 本願寺史料研究所副所長

宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要 ~京都ご本山 西本願寺へ~

- 日程 第1回:平成23年 4月14日(木) 募集人数20名
- 第2回:平成23年 5月13日(金) 募集人数45名
- 第3回:平成23年11月11日(金) 募集人数45名

※上記の日程は、本願寺の法要に参拝させていただく日です。

○参加費 未定

○行程 各回ともに3泊程度を予定

本願寺では平成23年より親鸞聖人750回大遠忌法要が修行されます。それにあわせて小樽別院からも団体参拝を計画しております。日程、旅費等詳細につきましては追ってお知らせいたします。50年に一度の大法要へ一緒に参拝させていただきます。

団体参拝のご案内

本願寺御影堂



5月～7月

常例布教（前期7日～11日・後期13日～16日）

5月

前期 北海道竜泉寺 寺垣 信晃 師
後期 熊本県教尊寺 大道 修 師

6月

前期 北海道妙法寺 石田 智秀 師
後期 熊本県光澤寺 源 明龍 師

7月

前期 北海道報恩寺 辰田 真正 師
後期 滋賀県浄願寺 夏木 一丸 師

行事案内

恒例行事

○宗祖親鸞聖人降誕会

日時 5月22日(土)午前10時より

場所 小樽別院本堂

通年行事

○総参拝 日時 毎月1日・16日午前6時30分

※毎月16日は、朝のお勤めの後、お粥があります。

○永代経法要 日時 毎日午前6時30分及び午後1時30分

○宗祖親鸞聖人月忌法要

日時 毎月15日・16日午後1時30分

晨朝(朝のおつとめ)100日参拝のご案内

期間:5月1日(土)～8月8日(日)

小樽別院本堂にて 朝6時30分より

※奥沢、新光の説教所でもお勤めさせていただいております。

いつもより早起きしてお寺へお参り下さい。

お経本も貸し出しております。またおつとめの後、日替わりで職員やご講師の法話がございます。



3分間の
心のともしび
小樽別院



24時間
いつでも
どうぞ

TEL 27-1616

テレホン法話

●テレホン法話担当表

5/ 1(土)～15日(土)	村 田	6/16(水)～30日(水)	山 邊
5/16(日)～31日(月)	温 井	7/1(木)～15日(木)	門 上
6/ 1(火)～15日(火)	森	7/16(金)～31日(土)	西川(副)

退職のご挨拶

この度、三月三十一日付をもって退職致すこととなりました。皆様のご厚情によりまして、大過なく勤めさせて頂きましたこと、心より御礼申しあげます。
今後は帯広の隣町、幕別町の教誓寺に入寺することとなりました。近くにお立ち寄りの際はお気軽にお声掛けください。
思い返しますと失礼なことばかりでお恥ずかしい限りではございますが、寛恕くださいませ。
どうぞ皆様お元気で、ありがとうございます。

森本 一燈

称名

異動のご挨拶

この度、四月一日付けで四州教区教務所・本願寺塩屋別院に異動することになりました。
小樽別院在職中にはご門徒の皆様には大変お世話になりました。小樽の地でお育て頂いたご縁を大切に故郷四国の地でお念仏相続に励みたいと思っております。
五年間ありがとうございました。

脇 大悟

物品寄贈者御芳名

アップライトピアノ
(カワイ 木製鍵盤)

宮本 和彦様

ご寄贈有難うございました。

本堂修復懇志 新規進納者御芳名者

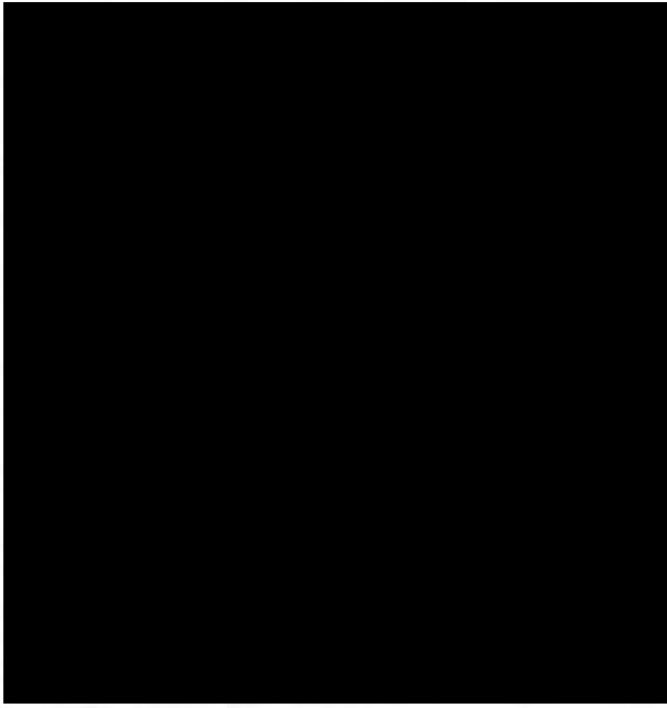
(平成二十二年二月末日現在)

磯野 正富
木ノ内和則
島田ヨシ子
雨谷 邦雄
上光 利恵

大貫 祐一
室田 敦子
橋本美恵子
(敬称略)

別院門徒物故者

(平成二十二年二月末日現在)



編集後記

新年号の最後の編集会議から4ヶ月ぶりに集まった編集委員の顔ぶれを見ると頼もしく、そして懐かしい気持ちになります。この号がみなさまのお手元に届く頃には、職員の入替わりできっと別院はバタバタしていると思います。
春は出会いと別れの季節。みなさまも環境が変わる中でいろいろあるかと思われれます。今回の号では、本願寺展や本山への団体参拝などいよいよ差し迫った大遠忌への宗派の意気込みが伝わればという思いで制作させていただきました。春はお出かけの季節。札幌まで足を延ばして、本願寺展に行ってみませんか？別院だよりへのみなさまのご意見、ご感想等お寄せ下さい。

編集委員

門徒委員

福川ヨシ子
平田 晴己
宮本 和枝
竹澤 知恭

別院担当者

森本 一燈
温井 卓生
森 敬信

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744 FAX0134-29-4080

みんな仲良し 小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。事前にお電話でご連絡下さい。)

- ☆保育時間→月曜日～金曜日(8:00～14:00 / 冬期間(12月～3月) 8:00～13:30)
- ☆昼食→お弁当～週2回 / 給食～週3回(パン食2回 / 米食1回)
- ☆預り保育→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:30迄は無料です / 降園バス有 / 夏休み・冬休み(8:30～17:00))
- ☆プール遊び→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆英会話→月2回年長のみ行います。
- ☆体操教室→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆送迎バス→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆主な行事→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。
- ☆ならし保育→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、毎週火曜日・木曜日に保育を行います。

園児募集中

※詳しくは、入園案内をごらんください。



詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX **0134-22-6536**